

協挑結実

校外学習：生徒の感想

災害が起こる前に、自分ができるところを見つけて取り組むことが大切だと知った。近所の人や周囲の人と一緒に助け合いながら避難することについての意識が高まった。自分が住んでいるところで災害が起こらないと思わず、対策を練ったり、災害が起こるかもしれないと常に思っておいたりする必要がある。

私の家は山のすぐ近くで、土地も低い所なので、土砂災害も浸水も起こりやすいです。近所には高齢者がたくさんいるので、近所で助け合うことが大切だと思います。今回の学習を生かして、あらかじめ避難場所や避難準備を家族としっかり話そうと思いました。

伝承館の職員の方の話は、災害が起きた時に、自分は大丈夫だと考えてしまうことや、砂防施設ができたからもう大きな災害は起きないだろうと考えてしまうことのように、災害に対して軽く見ていくことへの忠告だと思いました。

災害の怖さや、日ごろから備えておくことの大切さを学んだ。特に、地域で助け合うことや、早めに避難することが命を守ることに繋がることが知り、自分も防災についてしっかり考えていきたいと思いました。

もし災害が起こってしまった時は、冷静になって、自分で判断することを忘れないでおきたい。もっと防災意識を高めるために、災害についてインターネットで調べたり、本を読んだり、今回訪問した伝承館などの災害について知れることのできる施設に行きたいです。

実際に自分の目でキャンパスの様子を見たり、自分の耳で各学科の先生や学生さんの話を聞いたりすることができ、大学について詳しく知ることができました。自分の今後の進路の参考になったし、選択の幅も広がり、大学への興味ももて、とても良い経験になりました。

学生インタビューでは、ホームページで調べても分からなかった情報を知ることができた。自分の進路を深く考えるきっかけになった。将来自分が何をしたいかまだ分からないが、今の自分にできる最善を尽くしていきたい。

大学に進学するには、自分自身の得意分野や苦手文化を、普段の授業や定期試験から知っておくことが大切だということが分かった。また、基礎学力がとても大事だということが分かった。

今はまだ高校のことしか関心がなく、大学はまだまだ先だと思っていたけど、今のうちに大学のことや自分のしたいことを少しずつ決めていきたいと思いました。

大学の食堂は想像以上に広く、メニューも多いし、利用学生も多かったです。図書館が3階建てで、本の種類も豊富だし、専門的なことが学べる空間だった。全てのことが今よりも規模が大きなものだったので、ただただ驚きました。

